

2019年3月期決算 2019年度経営計画 説明会

2019年5月17日

Fill your tomorrow

社会と自然の調和を育み、未来へ向けた思いを満たす

2018年度の業界動向

- 受注環境は、民間設備投資、都心を中心とした再開発案件等の不動産投資が引き続き好調
- 技術者・技能労働者不足、資機材・労務費が上昇
- AI, IoTを活用した技術革新への対応
- 働き方改革による生産性向上への取り組み
- ESGを基軸とした経営への取り組み

目次

I 2018年度 決算

1. 連結決算の概要

II 2019年度 業績見通し

1. 業績見通し

III 中期経営計画の進捗成果と今後の展望

1. 進捗成果と見通し

2. 利益配分に関する基本方針

1. 連結決算の概要(1)

■ 受注高、繰越高

(百万円)

科目	2017年度	2018年度	(前年比額)	(前年比率)
受注高	114,320	120,530	(+6,209)	(+5.4%)
繰越高	87,064	85,204	(△1,859)	(△2.1%)

1. 連結決算の概要(2)

■ 完工高、利益

(百万円)

科目	2017年度	2018年度	(前年比額)	(前年比率)
完工高	111,742	122,389	(+10,647)	(+9.5%)
完工総利益	11,956	11,252	(△704)	(△5.9%)
完工総利益率	10.7%	9.2%	—	(△1.5%)
営業利益	4,274	3,885	(△388)	(△9.1%)
経常利益	4,644	4,235	(△408)	(△8.8%)
当期純利益	3,449	3,095	(△353)	(△10.3%)

1. 連結決算の概要(3)

貸借対照表

(百万円)

資産の部	2018年 3月末	2019年 3月末	増 減
現金預金	9,728	8,179	△1,548
受取手形・ 完工未収入金等	57,496	63,800	6,304
有価証券	300	—	△300
未成工事支出金等	1,195	985	△209
その他	2,508	2,024	△484
貸倒引当金	△290	△325	△34
流動資産計	70,938	74,665	3,727
建物・構築物等	2,805	2,636	△168
土地	917	780	△136
無形固定資産	543	693	149
投資有価証券	21,359	21,518	159
繰延税金資産	298	263	△34
その他	1,493	1,554	60
貸倒引当金	△87	△85	2
固定資産計	27,329	27,360	31
資産合計	98,267	102,025	3,758

負債・純資産の部	2018年 3月末	2019年 3月末	増 減
支払手形・工事未払金	34,576	35,986	1,410
短期借入金	9,830	12,652	2,822
未成工事受入金	2,316	2,135	△180
工事損失引当金	718	1,110	391
その他	4,885	4,302	△583
流動負債計	52,327	56,187	3,859
長期借入金	409	328	△81
繰延税金負債	1,919	1,989	69
その他	591	456	△134
固定負債計	2,920	2,774	△146
負債合計	55,247	58,961	3,713
株主資本	34,715	34,853	138
その他有価証券 評価差額金	7,787	7,833	45
為替換算調整勘定等	516	377	△139
純資産合計	43,019	43,064	45
負債・純資産合計	98,267	102,025	3,758

1. 連結決算の概要(4)

受注高

(百万円)

分野別受注高			2017年度	2018年度	(前年比)
個別	国内一般	・新築	39,801	39,587	(△0.5%)
		・リニューアル	45,930	55,302	(+20.4%)
	原子力		12,058	7,769	(△35.6%)
個別受注高			97,790	102,659	(+5.0%)
連結	国内	7,441	8,860	(+19.1%)	
	海外	9,088	9,009	(△0.9%)	
連結受注高			114,320	120,530	(+5.4%)

1. 連結決算の概要(5)

分野別受注の概要

- 新築分野は、都市部の再開発案件、
電子デバイス案件が好調で前年並み
- リニューアル分野は、保健・産業ともに大型案件が寄与
- 原子力分野は、前年の廃炉関連大型施設受注の反動減
- 国内関係会社は、日宝工業における自動車産業関連が好調
- 海外関係会社は、シンガポールでのデータセンター、
上海での日系産業案件が好調

1. 連結決算の概要(6)

完工高

(百万円)

分野別完工高			2017年度	2018年度	(前年比)
個別	国内一般	・新築	44,448	49,964	(+12.4%)
		・リニューアル	42,848	48,360	(+12.9%)
	原子力		8,802	7,735	(△12.1%)
個別完工高			96,099	106,060	(+10.4%)
連結	国内	9,568	8,301	(△13.2%)	
	海外	6,074	8,027	(+32.1%)	
連結完工高			111,742	122,389	(+9.5%)

1. 連結決算の概要(7)

分野別完工の概要

- 新築分野は、大型産業案件、首都圏再開発案件が進捗
- リニューアル分野は、オフィスビル、空港、電子デバイス案件が好調
- 原子力分野は、新規規制基準対応案件の期ズレ
- 国内関係会社は、日宝工業の大型案件の反動減
- 海外関係会社は、上海での日系産業案件、
モルジブでの大型リゾートホテルが順調に進捗

1. 連結決算の概要(8)

決算の総括

- 受注高は9期連続の増
- 完工高は4期連続の増で過去最高
- 受注高・完工高ともに個別で1,000億円を達成
- 当期純利益は前年比マイナス



【2019年度の重点課題】

- ・手持ち工事量と施工体制の
バランスを考慮した受注
- ・人的リソースの確保、適切な配分、
更なる生産性向上

目次

I 2018年度 決算

1. 連結決算の概要

II 2019年度 業績見通し

1. 業績見通し

III 中期経営計画の進捗成果と今後の展望

1. 進捗成果と見通し

2. 利益配分に関する基本方針

1. 業績見通し(1)

受注高

(百万円)

分野別受注高			2018年度 実績	2019年度 見通し
個別	国内一般	●新築	39,587	34,000
		●リニューアル	55,302	54,500
	原子力		7,769	8,500
個別受注高			102,659	97,000
連結	国内		8,860	8,000
	海外		9,009	10,000
連結受注高			120,530	115,000

1. 業績見通し(2)

完工高

(百万円)

分野別完工高			2018年度 実績	2019年度 見通し
個別	国内一般	●新築	49,964	37,000
		●リニューアル	48,360	52,000
	原子力		7,735	8,000
個別完工高			106,060	97,000
連結	国内		8,301	8,500
	海外		8,027	9,500
連結完工高			122,389	115,000

1. 業績見通し(3)

損益見通し

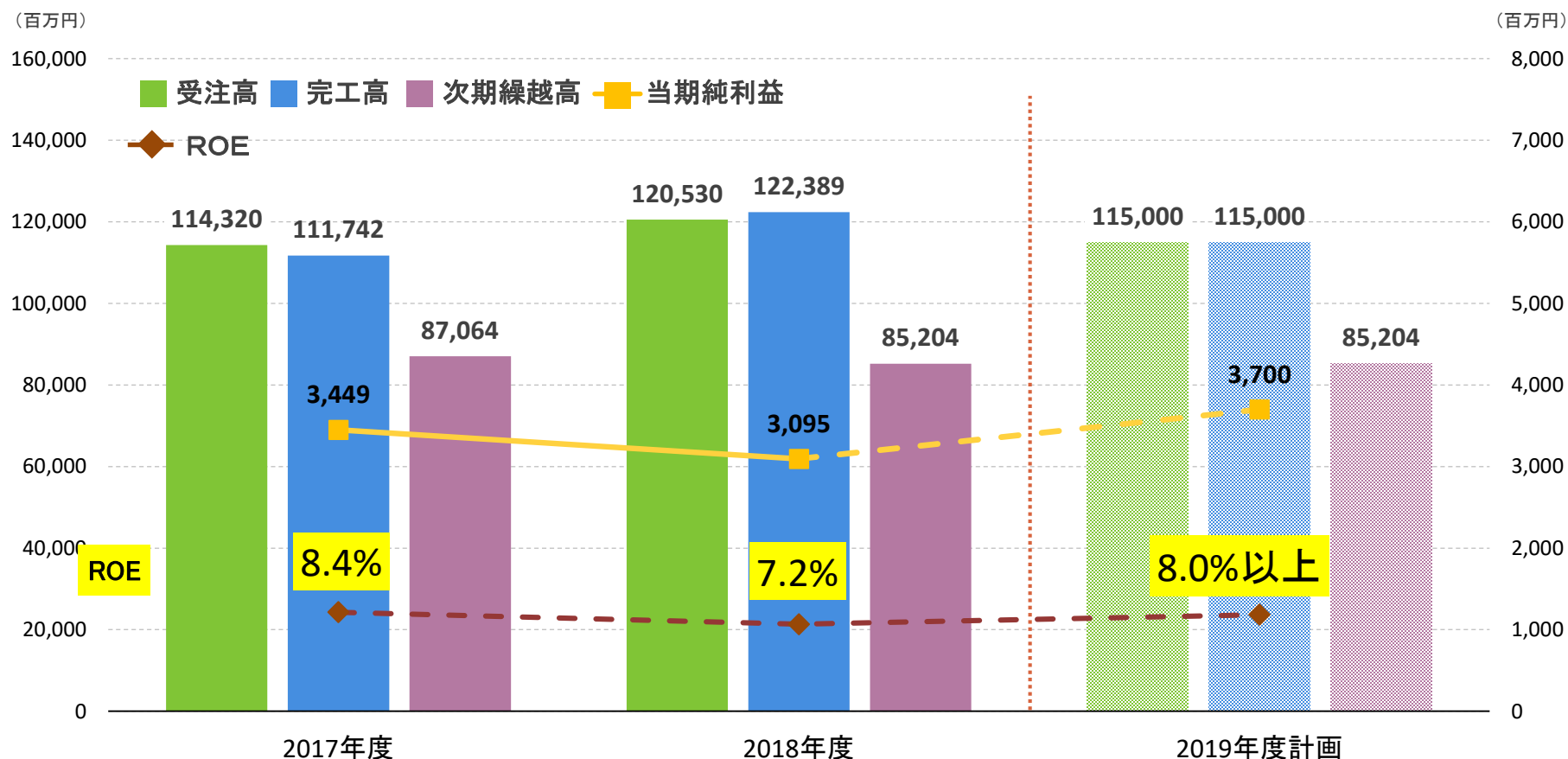
(百万円)

損益	2018年度 実績	2019年度 見通し
完工高	122,389	115,000
完工総利益	11,252 9.2%	12,500 10.9%
営業利益	3,885 3.2%	5,000 4.3%
経常利益	4,235 3.5%	5,200 4.5%
当期純利益	3,095 2.5%	3,700 3.2%

Ⅱ. 2019年度 業績見通し

1. 業績見通し(4)

「SNK Value Innovation 2020」の業績と2019年度計画



目次

I 2018年度 決算

1. 連結決算の概要

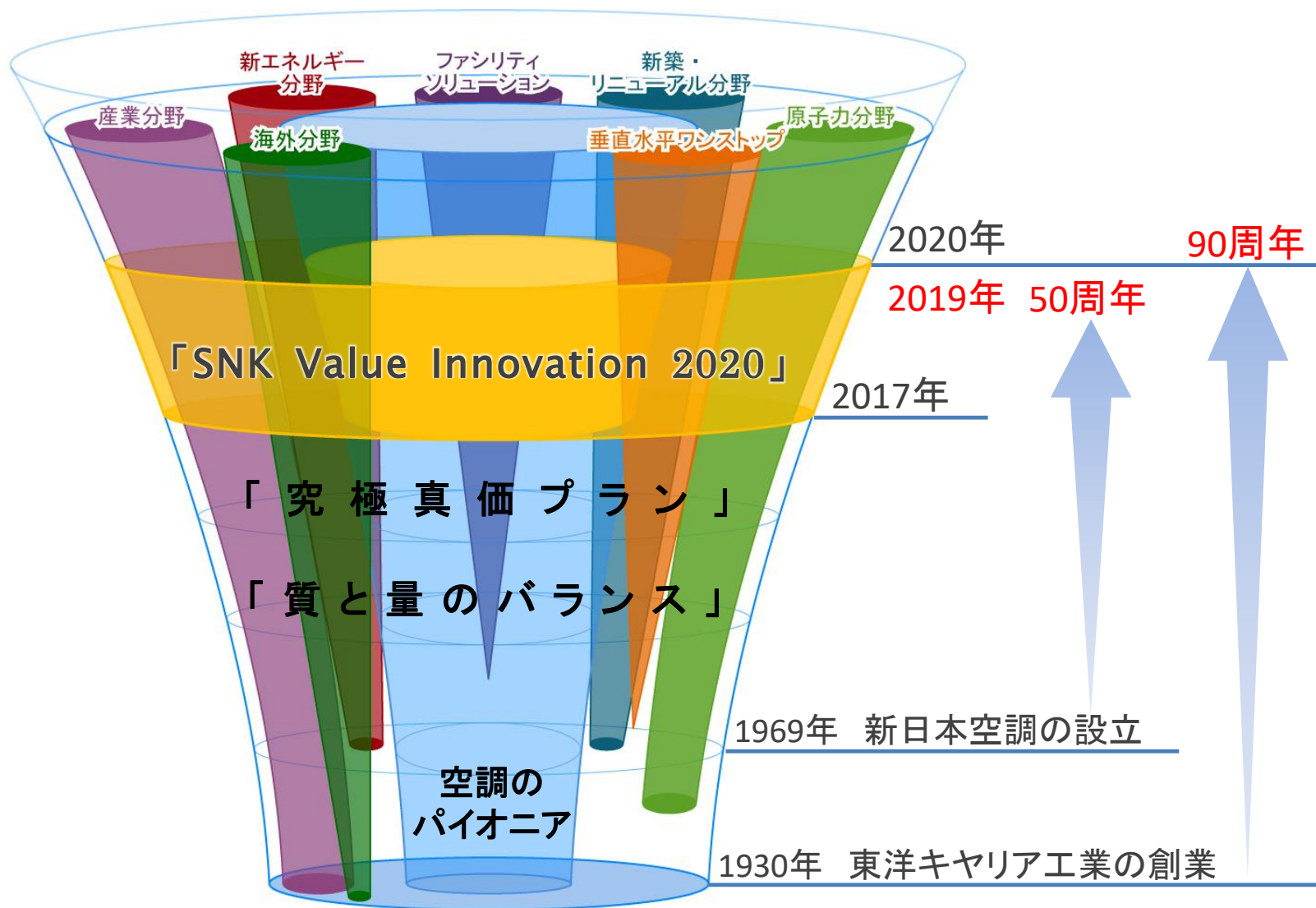
II 2019年度 業績見通し

1. 業績見通し

III 中期経営計画の進捗成果と今後の展望

1. 進捗成果と見通し

2. 利益配分に関する基本方針



企業ブランドのリファイン

2019年を次の50年に向けた「飛躍の年」と位置づけ
将来に向けた更なる持続的成長と企業価値の創造

将来を担う20代～40代の40名によるタスクチーム
全社員とお客様からのアンケート
残すべきDNA、持つべき価値観、当社が期待される役割

|| 新たな企業理念

【使命】

Fill your tomorrow

社会と自然の調和を育み、未来へ向けた思いを満たす

【価値観】

調和：社会と自然に敬意を払い、つながりを大切にします

探究：豊かな発想力と熱意を持って、新たな価値の創造に挑みます

真摯：何事にも強くしなやかに向き合い、期待に応えます

絆：仲間と共に、わくわくしながら、成し遂げる喜びを分かち合います

1. 進捗成果と見通し(1)

■ 今後の見通し

➤ 首都圏再開発の傾向

2020年以降は、一旦落ち着き、その後都心中心部
では、複数の再開発案件の集中が予想される

再開発においては、エネルギーのスマート化がさらに進む

1. 進捗成果と見通し(2)

今後の見通し

➤ 建設ストック、公共インフラ更新需要

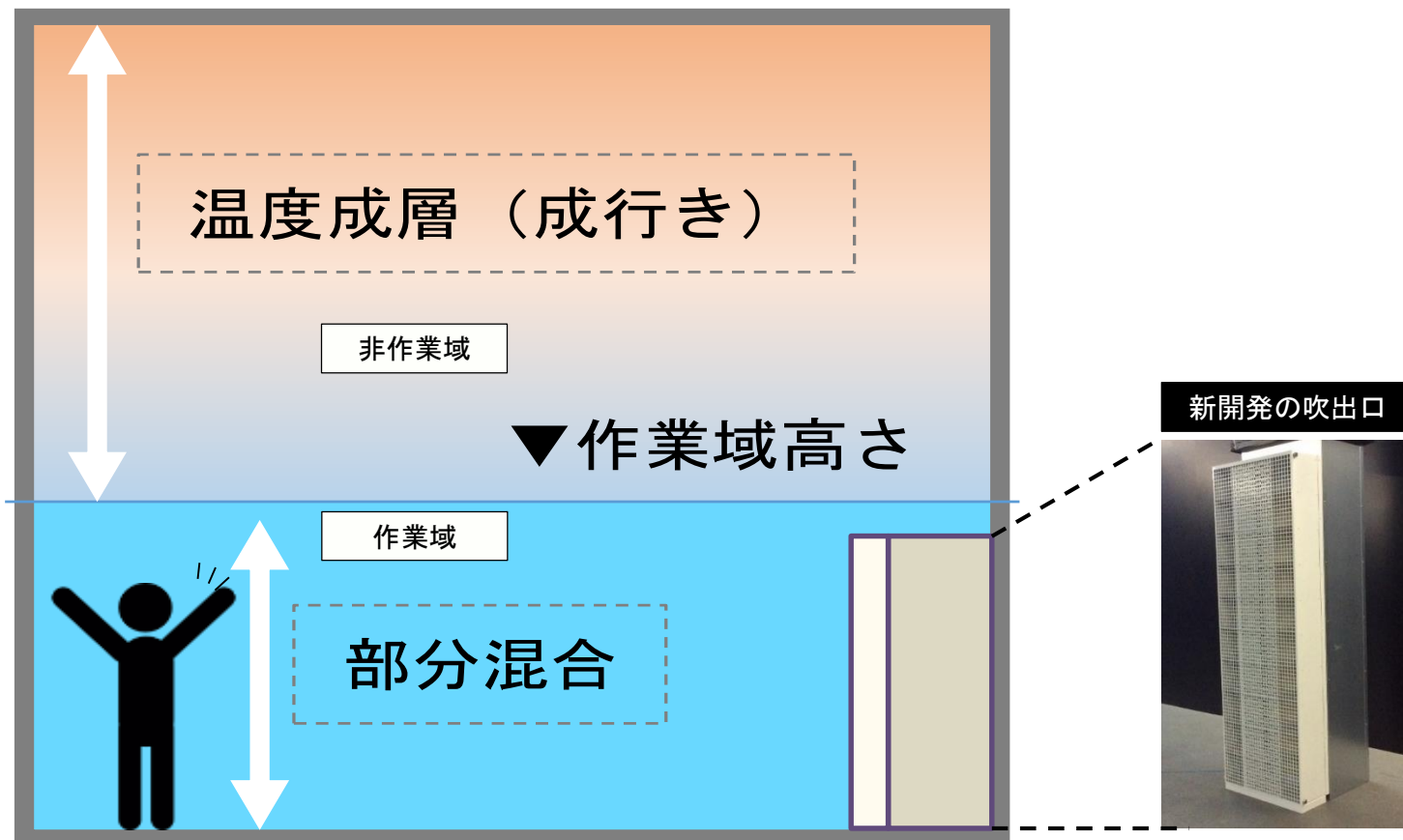
高まるリニューアル需要に応える

3DスキャンとCADデータの活用

BIM化への対応

1. 進捗成果と見通し(3)

大空間向けタスクゾーン省エネ空調 「Air-Lo³(エアロスリー)™」を市場投入



1. 進捗成果と見通し(4)

シミュレーション技術、IoT技術、AIの活用

➤ シミュレーション技術の高度化

流体解析、システムシミュレーション技術を提供

➤ IoT技術の現場活用

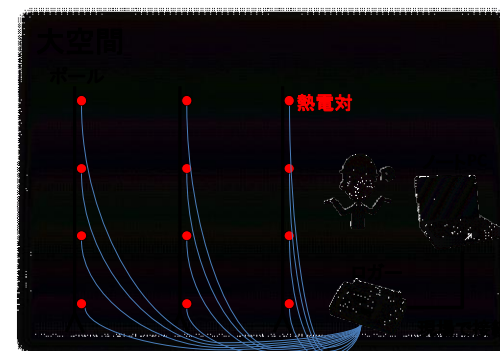
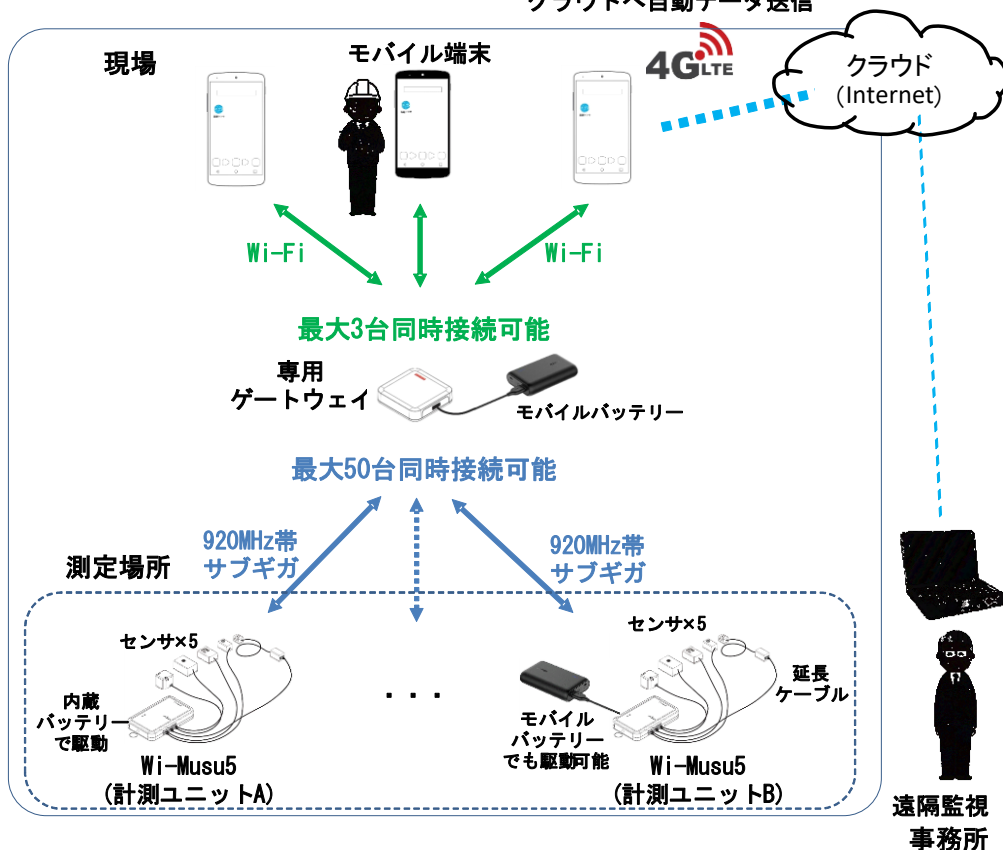
環境測定用無線センシングシステムを開発

➤ AIを活用した「BEMSデータ解析ソフト」の開発

1. 進捗成果と見通し(4)

環境測定用無線センシングシステム 「Wi-Musu(ワイムス)™」を開発

キャリア通信網にて
クラウドへ自動データ送信

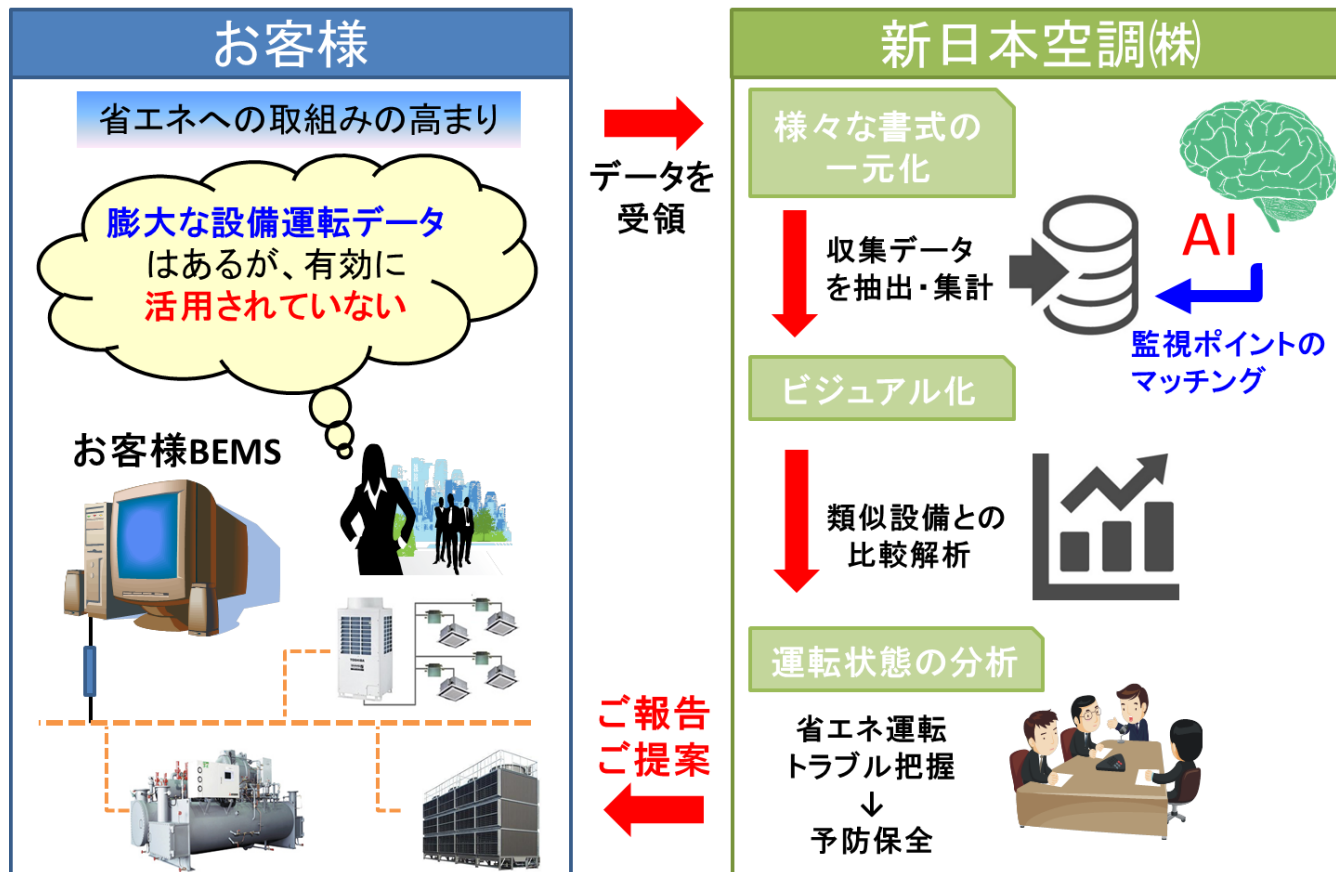


従来方法



1. 進捗成果と見通し(4)

AIを活用した「BEMSデータ解析ソフト」の開発



1. 進捗成果と見通し(5)

原子力分野、海外分野

➤ 原子力分野

新規制基準対応

テロ対策を含む特定重大事故等対処施設、緊急時対策所
安定化や廃炉に向けた取り組みを継続

➤ 海外分野

3現地法人体制の流動性を高めた展開

グローバル顧客に対する国内外連携による

日本、海外両面サポート

1. 進捗成果と見通し(6)

再生医療、先端医薬分野等対応、健康志向

➤ 再生医療、先端医薬分野に向けた対応

治験環境に空調技術を組込む再生医療向けユニット開発

「微粒子可視化システム」の進化⇒“Type-S”を市場投入

➤ 健康志向

新たに「抗菌化水性塗料」を開発

1. 進捗成果と見通し(6)

「微粒子可視化システム Type-S」を開発



- 光源とカメラを一体化のモバイルタイプとし、機動性向上
- 毎秒30回の高速サンプリングでリアルタイムな清浄度把握が可能
- 医薬、PM2.5など粉塵環境評価に有用

1. 進捗成果と見通し(7)

ICTを活用したデジタル変革

➤ ICTを活用したデジタル変革

マーケット、顧客の求める最適なビジネスモデルへ進化、
変革させる全社活動の推進

RPAの導入;10体のロボットを自社開発し運用中、
運用範囲の拡大で生産性向上を目指す

1. 進捗成果と見通し(8)

働き方改革によるワーク・ライフ・バランスの実現

働き方改革実現プラン	人づくり	・意識改革 ・人材育成	ワーキングイノベーション室の開設 社長トップメッセージの発信 情報発信・共有の強化(グループウェア導入) 働き方改革の周知教育・研修の実施
	生産性向上	・業務効率化推進 ・業務処理の見直し	現場業務の分業化・業務集約の展開 新工事業務管理システムの展開 ビジネスチャットの導入・情報端末の配備 ・電子商取引システムの導入、・RPAの導入 ・各種手続きのペーパーレス化
	働き方多様性	・勤務の多様化と制度改革	テレワーク(在宅、サテライトオフィス)の推進 連続5日間の休暇取得制度(SNK Take Five)の導入

1. 進捗成果と見通し(9)

ESG経営への取り組み

➤ ESG経営に向けた体制の構築と推進

ESG経営戦略室を開設

中期経営計画、CSR、SDGsの各課題を包含した

マテリアリティの特定と取り組み

2. 利益配分に関する基本方針

基本方針

総還元性向50%を指標とし、

- 配当性向30%以上
- 自己株式取得は、
発行済株式総数の10%を上限に
資本効率の向上と機動的な財務政策の実現を
目的とし、弾力的に対応

	2017年度	2018年度	2019年度予想
年間配当金	45.00円	50.00円	55.00円
配当性向	32.0%	38.4%	34.7%

本当に大事なもののほど、目には見えないのかもしれない。



空気・信頼そして未来、見えないものを大切にします。



新日本空調株式会社